

令和 2 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告書

（令和 3 年 3 月）

報告者氏名・所属	宮前耕史・釧路校	
研究プロジェクトの名称	食育実践力向上のための酪農家民泊体験実習プログラムの開発と効果測定方法の検討	
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に●を付すこと	小野亮祐（釧路校・准教授）（釧路校教育委員会教育実習部会 部会長） ●宮前耕史（釧路校・准教授） 半澤礼之（釧路校・准教授） 小林淳一（釧路校・准教授）	
研究プロジェクトの概要等（期間全体）		
<p>第一次産業とりわけ酪農を基幹産業とする北海道東部の地域特性を生かし、食糧生産基地・北海道に所在する唯一の教員養成大学として、酪農家宅での作業体験・生活体験を軸とする食育実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムの開発を行う。また、これと同時にその効果を検証するための効果測定方法の検討を行う。本研究は、釧路校教務委員会教育実習部会と、道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人・企業等、関係機関・団体との連携・協働により行う。</p>		
進捗度	3	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味 (進捗度が3もしくは4の場合、その理由や問題点等を記入願います。)
<p>新型コロナウイルス感染症流行のため、その感染拡大防止の立場から、濃厚接触を伴う通常通りの酪農家民泊体験が実施困難であり、これを代替するプログラムの実施について関係者間での調整に時間が必要であったため。</p>		
研究実績の概要（今年度）		
<p>新型コロナウイルス感染症流行のため、濃厚接触を伴う従来通りの酪農家民泊体験が実施困難となったため、関係者と協議の上、従来通りの酪農家民泊体験実習に代わる食育実践力向上のためのプロジェクト型学習プログラムを開発・実施した。より具体的には、牛の生態や酪農の仕事、JAの役割や協同の意義、これまでの酪農家民泊体験実習の取組みや取組みの意図、成果等に関する講義を踏まえ、命の糧・食や農、第一次産業・農山漁村、地域・つながりの重要性等といった事柄について実感的に理解していくためのプログラムを学生自身が作成し、実行した。</p> <p>実習の趣旨を踏まえ、酪農家が学生たちに伝えたいことを明らかにし、それを学生たちに伝えるための動画を作成した。動画作成にあたり、オンラインでのインタビューや作業内容等についての取材を行い、酪農の仕事や酪農家の想いを知ると同時に、上記のような事柄の重要性等に対する理解を深めた。</p> <p>具体的な実施日程は下記の通りである。</p>		
<p>1. 研究打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月17日（木）研究打合せ（JA北海道中央会根釧支所） ・10月19日（月）～23日（金）日程調整（オンライン） ・10月27日（火）研究打合せ（オンライン） ・11月5日（金）研究打合せ（オンライン） ・3月21日（日）～23日（火）研究打合せ（浦幌） <p>2. 受講案内および参加受付、ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月8日（木）受講登録説明会（対面） ・10月15日（木）受講登録説明会（対面） 		

<p>3. プログラム実施</p> <p>(1) 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月9日 (月) ガイダンス (対面) ・11月16日 (月) 大学教員による講義 (対面) ・11月26日 (木) コーディネーターによる講義 (オンライン) ・11月30日 (月) JA北海道中央会・根室地区農協青年部連絡協議会による講義 (対面およびオンライン) ・12月3日 (木) 受入れ酪農家による講義 (オンライン) <p>(2) プロジェクト実施</p> <p>①プロジェクトの検討 (12月7日 (月)～12月24日 (木)) (対面・オンライン)</p> <p>②学内検討会 (1月4日 (月)) (オンライン)</p> <p>③青年部・JA北海道中央会との相談会 (1月7日 (木)) (オンライン)</p> <p>④プロジェクトの再検討 (1月14日 (木)～1月21日 (木)) (対面・オンライン)</p> <p>⑤動画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業撮影 (2月2日 (火)) (オンライン) ・インタビュー (2月3日 (水)) (オンライン) ・試写会 (2月18日 (木)) (オンライン) <p>⑥酪農家民泊体験成果発表会 (2月22日 (月)) (対面・オンライン)</p>	
教育現場や地域で活用可能な成果等	
<p>総合的な学習の時間や特別活動、家庭科、社会科等をはじめ、学校と地域の連携・協働による食育や食農教育、地域理解等の関連分野で、食育実践力の習得や向上、地域理解や地域学習等のために、教員を目指す学生および現職教員が研修等を行う際に利用可能である。とりわけ新型コロナウイルス感染症流行下にあり、地域における体験的学習が実施困難な状況における地域理解や地域学習等に有用である。</p>	
研究成果の公表実績 (今年度)	
<p>【著書】 特になし</p>	
<p>【学術論文】 (投稿中も含む) 特になし</p>	
<p>【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】 特になし</p>	
<p>【テキスト、報告書、研修資料等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『教育フィールド研究Ⅶ (酪農家民泊体験実習) 2020』リーフレット (作成中) 1500部 (作成したパンフレットは本学HP (特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」) に掲載する。 ・学生が作成した動画は、関係者と協議の上、本学HP (特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」) に掲載する。 	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「酪農家に食や命学ぶ一 道大釧路校生オンライン実習」『釧路新聞』令和2年12月8日 (火) 記事 ・「酪農家の姿動画で照会一 根室の農協青年部協力 道大釧路校学生作成」『釧路新聞』令和3年2月23日 (火) 記事 ・「酪農家の思い、仕事紹介一 釧路大生が成果発表会」『北海道新聞』令和3年2月23日 (火) 記事
ダウンロード可能なドキュメント	特になし
関連URL	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路校HP (令和3年2月25日) 「釧路校の学生が酪農家民泊体験実習成果発表会を行いました」 (https://www.hokkyodai.ac.jp/)

	info_topics/kus/detail/11744.html)。 ・北海道教育大学公式Facebook（令和3年3月12日）「釧路校の学生が酪農家民泊体験実習成果発表会を行いました」（ https://www.facebook.com/hokkyodai ）。
問い合わせ先	氏 名：宮前耕史 電 話：0154-44-3309 E-mail：miyamae.yasufumi@k.hokkyodai.ac.jp